

看護教育 第17巻 総目次

1976年1-12号

(分類は第13巻第5号‘特集・文献集録’に準じ、表示は題名：筆者名、号数、ページ数を表す)

看護教育原論に関するもの

- 私の発言 臨床看護教育への期待：岡安大仁，2，65-71.
- 看護教育方法変革の現状と問題点 V. わが国における教育機器利用の現状：中西睦子・外，3，153-164.
- 私の発言 看護教育の使命 理論と実践をめぐる問題：岸 信行，5，257-261.
- 教育思潮 ‘すぐ役に立つ教育’論の検討：山崎昌甫，7，456-460.
- 私の発言 心にとめること：洲脇絢子，8，465-469.
- 私の発言 看護教育はこれでよいのか 施設内教育の悩み：池野栄子，10，601-605.
- 対談 ‘植物人間’とその看護をめぐる教育の場に問われているもの：服部 裕・大溝佐和子，12，749-761.
- 安楽死論争のあとに 看護教育と死の問題：田河内ツル子，12，762-765.

看護学論に関するもの

- 看護学は学として成り立ちうるか X. 文学と科学(1)：品川嘉也，1，33-38.
- 看護学は学として成り立ちうるか XI. 臨床医学と看護：村山玲子，2，91-99.
- 看護学は学として成り立ちうるか XII. 文学と科学(2)：品川嘉也，3，171-176.
- 教育思潮 看護学研究の意義：山崎昌甫，8，519-524.

看護論に関するもの

- 海外研究論文抄読 看護理論分析のわく組み：MARGERY DUFFEY・A. F. MUHLENKAMP，壁島あや子訳，1，26-32.
- 新しく看護学生になった人たちへの手紙 その2 看護という仕事の本質：大段智亮，5，307-316.

- 新しく看護学生になった人たちへの手紙 その3 人間研究と生涯教育：大段智亮，6，388-395.
- 私の発言 ‘人間看護’といわれる不幸 病床で考えたこと：森日出男，7，401-405.
- 私の発言 看とり護る者の標(しるし)：山口絢子，9，529-533.
- 私の発言 看護の視点ということ 看護の領域を左右する因子：加藤万利子，11，665-668.

教育制度に関するもの

- 私の発言 准看教育の現状とその養成廃止を願って：中島美枝子，1，1-5.
- 特別インタビュー 専修学校制度の成立と今後の課題：小野元文・大橋優美子・坪井良子，5，262-271.
- 専修学校制度に関する資料：5，272-285.
- 学校教育法一部改正の意味するもの：岩下清子，5，286-288.
- 読者のひろば 准看制度廃止の意見を読んで：中村卓二，6，396-397.

カリキュラムに関するもの

- 看護教育(看護婦学校)カリキュラムの現状と今後の課題：吉田政江・外，7，433-439.

准看学校ならびに高等学校教育に関するもの

- 私の発言 准看教育の現状とその養成廃止を願って：中島美枝子，1，1-5.
- 教育思潮 高等学校衛生看護科の性格：山崎昌甫，6，383-387.
- 第1回四大学看護研究会研究報告・1 高等学校における看護教育の諸問題 昭和50年度教職員免許法認定講習受講生のアンケートを中心として：山元重光・外，8，471-478.
- 第1回四大学看護研究会研究報告・2 高等学校衛生看護科学生の実態と動向について：松岡淳夫・外，8，479-486.

第1回四大学看護研究会研究報告・3 衛看から特
看にのぞむもの：福井公明・外，9，547-550.

第1回四大学看護研究会研究報告・4 高等学校衛
生看護科の教材に関する調査：津島 律・外，9，
551-557.

第1回四大学看護研究会研究報告・5 追加発言・
討議：9，558-562.

看護婦学校(2,3年課程)ならびに短大教育 に関するもの

九州大学医療技術短期大学部における看護学生の入
学の動機および背景の推移 各種学校より短大に
いたる：鶴コトミ・外，4，231-234.

師弟対談 国立岡山病院付属看護学校創立のころ：
神 秀子・季羽倭文子，6，334-347.

大学教育に関するもの

海外研究論文抄読 看護研究と大学院教育：VIRGI-
NIA CLELAND, 金井和子訳，8，508-513.

保健婦・助産婦教育に関するもの

助産婦教育における実習指導の実際 I. 専任実習
指導教員の役割：新道幸恵・外，4，227-230.

助産婦教育における実習指導の実際 II. 実習形態
と指導方法：新道幸恵・外，5，298-305.

助産婦教育における実習指導の実際 III. 効果判定：
新道幸恵・外，6，357-363.

外国の看護教育に関するもの

私の発言 アメリカの看護教育の実際：前田三枝子，
6，329-333.

西ドイツ Krupp 病院での印象：遠矢福子，6，374-
378.

看護教育(看護婦学校)カリキュラムの現状と今後の
課題：吉田政江・外，7，433-439.

教育技法，授業に関するもの

講座 教育の方法 具体的授業展開のために II.
学習指導案(教案)：久保田信之，1，39-43.

講座 教育の方法 具体的授業展開のために III.
教育実践の実技のいろいろ：久保田信之，2，
100-104.

看護教育方法変革の現状と問題点 V. わが国にお
ける教育機器利用の現状：中西睦子・外，3，
153-164.

講座 教育の方法 具体的授業展開のために IV.
生活指導(生徒指導)の研究：久保田信之，3，
177-181.

授業研究 看護学演習による体験学習：壁島あや子，
4，198-210.

授業研究 セミナール教育の導入と展開：山田里律・
外，9，534-546.

専門科目に関するもの

未知の看護書をたずねる(8) 小児養護書 その1：
山根信子，1，44-49.

未知の看護書をたずねる(9) 小児養護書 その2：
山根信子，2，105-110.

成人看護学各論の授業展開 I. カリキュラム編成
と成人看護学指導の基本的な考え方：高木永子・
外，4，218-226.

ある小児科医の手記 今，私は歩きはじめた その
1：日下隼人，4，241-246.

未知の看護書をたずねる(10) 産褥看護の書“達生
図説”：山根信子，4，247-252.

成人看護学各論の授業展開 II. 消化器疾患患者の
看護：高木永子・外，5，289-297.

ある小児科医の手記 今，私は歩きはじめた その
2：日下隼人，5，317-324.

成人看護学各論の授業展開 III. 循環器疾患患者の
看護：高木永子・外，6，348-356.

成人看護学各論の授業展開 IV. 血液・造血器疾患
患者の看護：高木永子・外，7，425-432.

成人看護学各論の授業展開 V. 泌尿器・男性生殖
器疾患患者の看護：高木永子・外，8，496-507.

成人看護学実習における老人ホーム実習の試み：三
宅 緑・外，9，570-576.

成人看護学各論の授業展開 VI. アレルギー性疾患・
膠原病患者の看護：高木永子・外，9，577-586.

教育研究レポート 母性看護学——その考え方と組
み立て方 京都市立看護短期大学の場合 その1：
洲脇絢子，10，631-636.

成人看護学各論の授業展開 VII. 内分泌・代謝疾患
患者の看護：高木永子・外，10，647-655.

教育研究レポート 母性看護学——その考え方と組
み立て方 京都市立看護短期大学の場合 その2：
洲脇絢子，11，705-709.

成人看護学各論の授業展開 VIII. 神経疾患患者の看
護：高木永子・外，11，716-725.

臨終——患者の観点から：E. Kübler=Ross, 継茂訳，
12，746-748.

対談 “植物人間”とその看護をめぐって 教育の場
に問われているもの：服部 裕・大溝佐知子，12，
749-761.

成人看護学各論の授業展開 IX. 感覚器——眼疾患
患者の看護：高木永子・外，12，774-781.

臨床実習・臨床指導に関するもの

看護学実習の新しい試み V. 総合看護実習について

て——小児看護実習：正田美智子・外，1，50-54.
形成的評価のための目標分類 実習指導者のための
試行：鈴木敦省，2，72-79.

看護学実習の新しい試み VI. 総括——看護の概念
の把握：正田美智子，2，111-115.

臨床実習で学生と共に学ぶ：谷美津子，4，193-197.
学生と患者のはざまに思うこと：駒松仁子，4，
211-217.

臨床実習レポート 自己分析による患者への接近：
沢田石佳代子，6，365-372.

実習指導を担当して：松本君代，6，373.

看護学総論指導と方法と応用 III. 指導方法——臨
床実習・学外実習：波多野梗子・外，9，563-569.

成人看護学実習における老人ホーム実習の試み：三
宅 緑・外，9，570-576.

目撃と印象（1）わたしの経験的臨床実習指導論：
野島良子，10，606-611.

目撃と印象（2）わたしの経験的臨床実習指導論：
野島良子，11，669-675.

テスト・評価に関するもの

形成的評価のための目標分類 実習指導者のための
試行：鈴木敦省，2，72-79.

海外研究論文抄読 臨床看護課程における評価のモ
デル：BETTY D. PEARSON，野村かず訳，
3，165-170.

基礎科目・教養に関するもの

文学の中の看護 真実の光の中で トルストイ著
“イワン・イリッチの死”：清水昭美，1，55-60.

文学の中の看護 橋山節考 深沢七郎著“橋山節
考”の批判：清水昭美，2，116-122.

文学の中の看護 エゴイズムと愛の間に 夏目漱石
著“こころ”：清水昭美，3，182-187.

新しく看護学生になった人たちへの手紙 その1

看護にどう取り組むか：大段智亮，4，235-240.

新しく看護学生になった人たちへの手紙 その2

看護という仕事の本質：大段智亮，5，307-316.

未知の看護書をたずねる（11）“医疾令”：山根信
子，6，379-382.

新しく看護学生になった人たちへの手紙 その3

人間研究と生涯教育：大段智亮，6，388-395.

教育研究レポート 看護学総論——その教育内容の
再検討：田島桂子，7，406-416.

教育研究レポート 看護学総論指導の方法と応用
（1）：波多野梗子・小野寺杜紀，7，417-424.

自己自身として生きるために 人間学的断想・1 人
間理解の問題：谷口隆之助，7，451-455.

教育研究レポート 看護学総論指導の方法と応用

II. 教授内容と教授方法——講義・演習・学内実
習：波多野梗子・外，8，487-495.

自己自身として生きるために 人間学的断想・2

人間存在における‘関係’と‘孤独’：谷口隆之助，
8，514-518.

教育研究レポート 看護学総論指導の方法と応用

III. 指導方法——臨床実習・学外実習：波多野梗
子・外，9，563-569.

人間と科学との対話 病気の意味：村上陽一郎，9，
587-591.

自己自身として生きるために 人間学的断想・3

助力的関係の問題 自己自身にたいする誠実なか
かわりかたと他人自身に対する誠実なかかわりか
たについて：谷口隆之助，9，593-597.

教育研究レポート 看護学総論の教育展開（1）：

日本赤十字中央女子短期大学看護学総論研究グル
ープ，10，637-646.

教育研究レポート 看護学総論の教育展開（2）：

日本赤十字中央女子短期大学看護学総論研究グル
ープ，11，705-709.

自己自身として生きるために 人間学的断想・4

現代社会のひずみのたかで ひとは果たして自己
自身として生きうるか：谷口隆之助，10，656-
660.

人間と科学との対話 生命と目的論的構造：村上陽
一郎，11，726-730.

自己自身として生きるために 人間学的断想・5

実存としての‘からだ’：谷口隆之助，11，732-
736.

人間的事象としての死（1）：田村 真，12，741-
745.

臨終——患者の観点から：E. Kübler-Ross，継茂
訳，12，746-749.

安楽死論争のあとに 看護教育と死の問題：田河内
ツル子，12，762-765.

文明と死：三木福治郎，12，766-773.

自己自身として生きるために 人間学的断想・6

人間における危機的状況としての‘病気’：谷口隆
之助，12，782-786.

公衆衛生看護・保健所実習に関するもの

保健婦による学生指導の反省：山田千鶴子，7，440-
443.

教育研究レポート 看護学総論指導の方法と応用

III. 指導方法——臨床実習・学外実習：波多野梗
子・外，9，563-569.

海外研究論文抄読 予防保健行動の概念形成：H. J.
Pender，11，710-715.

学生・課外活動・寮などに関するもの

- 課外活動を通した障害者問題の考察：金牧弘子，3，147-151.
- 講座 教育の方法 具体的授業展開のために IV. 生活指導（生徒指導）の研究：久保田信之，3，177-181.
- 九州大学医療技術短期大学部における看護学生の入学の動機および背景の推移 各種学校より短大にいたる：鶴コトミ・外，4，231-234.

教務・教員に関するもの

- 私の発言 看護教師9年目のつづき：氏家幸子，3，129-133.
- 看護教師の皆さんへの手紙 学生を送り出すとき迎えるとき：大段智亮，3，134-146.
- 臨床実習で学生と共に学ぶ：谷 美津子，4，193-197.
- 私の発言 看護衣をつけた教師：中丸弘子，12，737-740.

看護研究に関するもの

- 海外研究論文抄読 看護研究と大学院教育：VIRGINIA CLALAND，8，508-513.

現任教育・卒後教育に関するもの

- 筑波大学における看護教育の構想 筑波大学附属病院の看護体系試案：筑波大学附属病院創設準備室，1，6-12.
- 筑波大学における看護教育の構想 特別インタビュー 卒後看護教育の構想を聞く：小宮正文・高橋美智，1，13-25.
- 看護婦の継続学習に関する報告（2）働きながら大学に学ぶ看護婦の動態からみた継続学習の在り方：外口玉子・中山洋子，10，612-630.
- 看護婦の継続学習に関する報告（3）働きながら大学に学ぶ看護婦の動態からみた継続学習の在り方：外口玉子・中山洋子，11，676-696.

その他

- 海外研究論文抄読 絶大なる医師の権威：BEATRICE J. KALISH，平澤ひろ子訳，2，80-90.
- ある入院患者の感想：松井大造，7，444-450.

書評・新刊紹介

- 医療の中の人間疎外に警鐘 松田道雄著“人間の威厳について”：安河内芳子，1，61-62.
- 患者の安全を守る常識の確認 一柳邦男著“手術室

での看護の基本——患者の安全を守るために”：小俣妙子，1，63-64.

- 動物学的側面より人間の愛を探り現代人の危機に迫る D. モリス著 石川弘義訳“ふれあい——愛のコミュニケーション”：岡崎美智子，2，124-126.
- 看護現任教育の組織体系化を提示 早川かつ編集“看護現任教育”：坪井良子，2，126-127.
- 価値ある生命とは何か L. ゴールドマン著 中川米造訳“医師が意見を異にするとき”：中山洋子，3，188-189.
- 看護と人間の諸側面を追求 高橋美智著“看護婦であること”：芳賀佐和子，3，190-191.
- “‘古い’の理解と援助のための実践の手引き J. Birchenall・M.E. Streight 著 折茂 肇・遠藤千恵子訳，4，253-254.
- 評価の技法を分かりやすく解説 沼野一男・小島操子著“看護教育評価——その目的と方法”：内尾貞子，4，255-256.
- だれにでも利用できる情報収集の技術 加藤秀俊著“取材学”：寺田真廣，5，325-326.
- 不毛の時代における愛の啓示 谷口隆之助著“愛からの自由”：新道幸恵，5，326-328.
- 医療危機突破への模索 川上 武著“医療復権のために”：免田紀子，6，398-399.
- 人間関係の根底にあるものへの理解 大段智亮著“医療心理学”：木内叙子，6，399-400.
- 具体的な看護活動場面からの概念構築 看護開発協議会著 小野寺杜紀訳“看護概念の再検討”：津田佳代子，7，462-463.
- 生徒の可能性にける教師の実践記録 大西忠治著“核のいる学級”：白崎スミ，7，463-464.
- 臨床で常時参考とした価値ある1冊 和田攻・上田礼子監訳“臨床看護マニュアル”：寺田真廣，8，525.
- “身体”の復権が開示する世界 市川 浩著“精神としての身体”：佐藤登美，8，526-528.
- 悲しみを乗り越え、自立してゆく女の記録 リン・ケイン著 曾野綾子・鶴羽伸子訳“未亡人”：遠藤恵美子，9，598-600.
- 実践に裏づけられた障害者教育論：津田道夫・斉藤光正・木田一弘共著“権利としての障害者教育”：山本早苗，10，662-664.
- 看護の系統的表現をめざして アイモジン=M=キング著 杉森みどり訳“看護の理論化——人間行動の普遍的概念”：氏家幸子，12，787-788.